

しずおかの海と資源を守るための基盤的研究

(予算区分 研究費 研究期間 2017 年度～)
担当：水産・海洋技術研究所 資源海洋科 青山 航
浜名湖分場 鈴木朋和
伊豆分場 角田充弘

【研究の背景とねらい】

- ・海的环境や水産資源は漁業の基盤であり、これらの情報を継続的に収集・蓄積・解析することで、長期的な変化や異常現象を把握・予測し、有効な対策を立てることが可能になります。
- ・また、収集・蓄積された情報は、様々な水産研究のシーズとして活用されるものです。
- ・本研究では、静岡県沿岸及び浜名湖の漁場環境を定期的にモニタリングするとともに、これらの予測技術の向上を図ります。
- ・また、イワシ類、サバ類、カツオ、サクラエビ、有用海藻など漁業資源を継続的にモニタリングするとともに、漁場環境情報と合わせた適切な管理技術を開発し、得られた情報を漁業関係者へ発信します。

【これまでに得られた成果と期待される効果】

(2022 年度までの成果)

- ・モニタリングを継続し、結果を解析して漁業活動等に資する情報発信を行いました。

(2023 年度の成果)

- ・モニタリングを継続し、下表のとおり各種情報発信を行いました。

漁場環境の情報発信

媒体名	発信先	発信頻度	期待される効果
関東・東海海況速報	漁業者・海面利用者	毎平日 (243 回)	効率的な漁場探索、安全な航行や海面利用
人工衛星による観測情報	漁業者・海面利用者	随時 (366 回)	効率的な漁場探索、安全な航行や海面利用
駿河湾急潮情報	駿河湾内漁業者	適時 (4 回)	定置網の流出防止対策
浜名湖プランクトン速報	浜名湖内漁業者	適時 (33 回)	赤潮被害軽減

漁業資源の情報発信

情報名等	発信元	発信頻度	情報内容	期待される効果
漁海況月報・年報	漁業者 県民	毎月・毎年 (12 回・1 回)	海況と主要魚種の 漁況	漁獲管理の基礎資料、資源の 持続的利用
県内主要魚種の 動向	漁業者 県民	毎年 (1 回)	主要 21 魚種の資源 評価	漁獲管理の基礎資料、資源の 持続的利用
資源・漁海況 研修会	漁業者 加工業者等	随時 (17 回)	資源評価・漁海況 予測	操業計画や漁場管理、加工業 者の原魚買付の基礎資料、経 営効率化や資源の持続的利 用
テングサ作柄 予報	漁業者 県民	毎年 (10 回)	テングサ作柄予測	操業計画や漁場管理の基礎 資料、経営効率化や資源の持 続的利用

- ・本研究で蓄積した情報や解析結果が評価されて、新たな共同研究等に繋がりました。

【今後の計画】

- ・引き続き、漁場環境・漁業資源のモニタリングを行います。
- ・得られた情報の蓄積・解析により、海洋環境の把握、水産資源の適切な管理に資するとともに、各種情報発信を行います。

(作成 2024 年 4 月)